

科目区分	専門分野	授業科目	基礎看護方法論Ⅴ
講師名	菅原明栄 窪田有紀 玉村真弓	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 前期・後期
<p>目的： 食事・排泄の意義と看護師の役割を理解し、援助を行なう上での原理・原則・倫理的態度を踏まえて基礎的な援助技術を習得する。</p> <p>目標： 1. 食事・排泄の意義を述べることができる 2. 食事・排泄の身体的・精神的・社会的な健康状態について述べるができる 3. 食事・排泄に影響を及ぼす因子についてアセスメントし、対象のニーズの充足・未充足を考えることができる 4. 対象者のニーズに応じた食事・排泄の基礎的な援助ができる 5. 食事・排泄の援助が必要な対象者に対して倫理的態度をとることができる</p>			
回	時間	講義内容	
1 窪田	2 講義	食事の意義	食事の意義 健康と食物 嚥下・消化・吸入のメカニズム
2 窪田	2 講義	食事と栄養状態のアセスメント	食欲・栄養状態のアセスメント BMI
3 玉村	2 講義	食事・栄養に援助を必要とする人の看護	食事援助、食欲・食習慣・健康障害時における食事内容 対象に応じた食事介助 食事の観察・アセスメント 口腔ケア
4 玉村	2 演習	食事援助技術①	食事介助の実際 口腔ケアの実際
5 玉村	2 講義	非経口的栄養を必要とする人の看護	経管栄養法 中心静脈栄養法
6 玉村	2 演習	食事援助技術②	経管栄養法 胃管挿入 栄養注入
7 菅原	2 講義	排泄の意義	排泄の意義 排泄のメカニズム
8 菅原	2 講義	排泄及び排泄行動のアセスメント	排泄の正常と異常 排泄及び排泄行動のアセスメント
9 菅原	2 講義	排泄援助を必要とする人の看護①	対象に応じた排泄の援助 自然な排泄への援助 症状排泄への援助 陰部の保清

10 菅原	2 演習	排泄援助技術①	症状排泄援助の実際（便器・尿器） ポータブルトイレ
11 菅原	2 講義	排泄援助を必要とする人の看護②	グリセリン浣腸 摘便 導尿 膀胱留置カテーテル
12 菅原	2 演習	排泄援助技術②	グリセリン浣腸 摘便
13 菅原	2 演習	排泄援助技術③—1	導尿
14 菅原	2 演習	排泄援助技術③—2	膀胱留置カテーテル
15	2	単位認定試験	筆記試験
講義方法		講義、演習（講義 16 時間、演習 12 時間）	
評価方法		単位認定試験 筆記試験 100 点	
テキスト		医学書院：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 3 基礎看護技術 II メディックメディア：医療情報科学研究所編集 看護がみえる Vol.1 基礎看護技術、看護がみえる Vol.2 臨床看護技術	
備考			